



KONICA MINOLTA



PAGE  
SCOPE

Workware

Windows用

Document Management Software

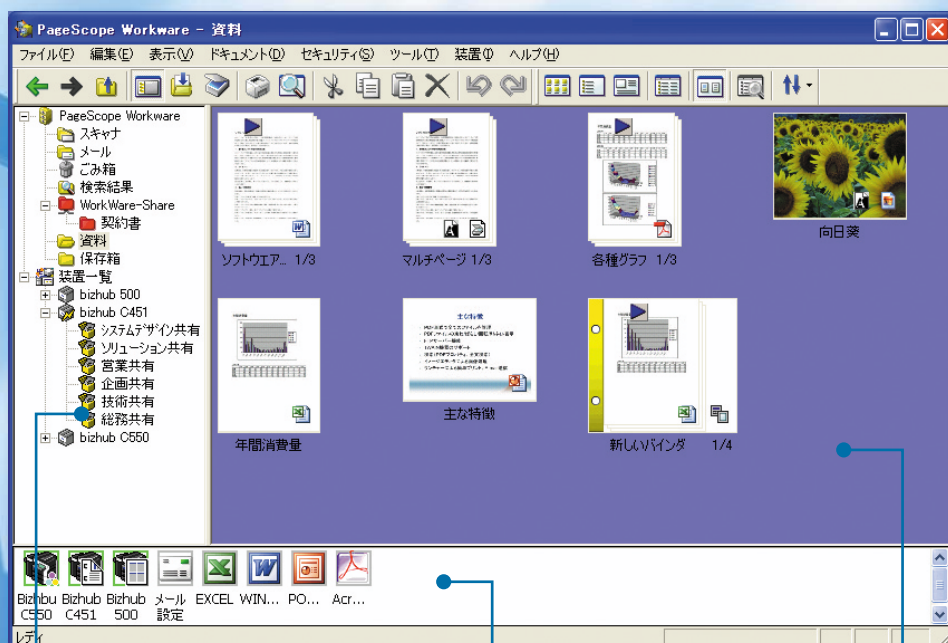


オフィスの文書管理を効率化する  
ドキュメントマネジメントソフトウェア

Giving Shape to Ideas

# 文書形式の多様化に対応した ドキュメントソリューション

オフィスで日々発生する多種多様なペーパー文書や、  
様々なアプリケーションで作成された文書などの”知的財産”を  
電子化・共有化し、ビジネスに活用する動きは急速に進んでいます。  
コニカミノルタの「PageScope Workware」は、オフィスにあふれる文書を電子化し、  
PDF形式による統合管理を行うドキュメントマネジメントソフトウェアです。  
アプリケーションによる電子データ、スキャンデータ、Webなど幅広いデータを  
PDF形式で管理できるため、編集・加工・検索などはもちろん、出力や配信も容易。  
さらに、コニカミノルタ複合機との連携により、  
スキャンデータの自動取り込みや検索・編集業務の効率化、多彩な自動出力など  
ドキュメントワークフロー全体の自動化も可能です。  
多彩なドキュメントマネジメントを実現するPageScope Workware。  
多様化するニーズにお応えするドキュメントソリューションを提案します。



## メインウィンドウ

メインウィンドウは、PageScope Workware起動時に表示される画面です。ファイルエリア、フォルダエリア、ランチャーの3つのエリアで構成されています。Windowsのエクスペローラーに近い画面構成で、分かりやすいインターフェイスを実現しました。

## フォルダエリア

PageScope Workware文書とデータベースを管理するエリアです。フォルダやファイルを自在に作成・削除・移動・名前の変更など管理することができ、共有フォルダの作成・追加も可能です。また複合機のボックスもここに表示され、ボックス内のファイルを閲覧できます。

## ランチャー

設定ダイアログで登録した項目のアイコンと名称が表示されます。コニカミノルタ製の複合機であれば、ドライバーの自動登録が可能です。ドキュメントをドラッグ&ドロップするだけで、各機能を簡単に行え、印刷指定枚数のポップアップ機能により枚数変更も容易です。

## ファイルエリア

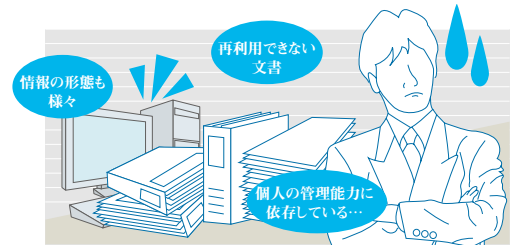
フォルダエリアで選択されたファイル内容を表示します。通常アイコン／一覧表示に加えて、内容をビジュアルで確認できるサムネイル表示、日付などの付随データも読みとれる詳細表示、文書情報を確認できるカード表示があります。

# PageScope Workwareを導入することで、 ドキュメントマネジメントに生じていた様々な問題を解決できます。

## Solution with PageScope Workware

### ドキュメント情報の一元管理と共有化

- オフィスの紙文書が増え、机が書類の山。
- 必要な書類を捜すのが大変。
- 紙文書を電子化し、保存したい。
- スキャナーデータを簡単に扱えるソフトウェアが欲しい。
- 様々なドキュメントを一元的なフォーマットで保存・印刷したい。

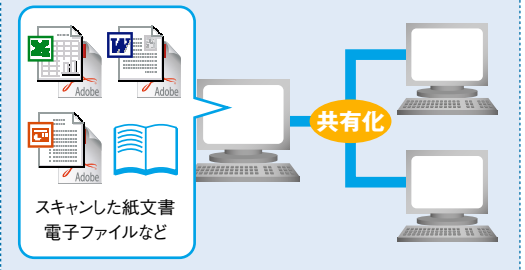


## PageScope Workwareで解決!

### オフィスがこう変わる

- Word、Excelで作成したデータを一つのPDFファイルで保管できます。
- 紙文書も電子文書もファイルエリアで一元的にハンドリング可能です。
- 個人管理に加えネットワーク共有も可能です。
- 過去の貴重な紙資料と新しい文書を一元管理できます。
- 膨大なデータからの文書検索も簡単。
- 紙で保存する必要がなくなり、省スペース、省資源が可能です。

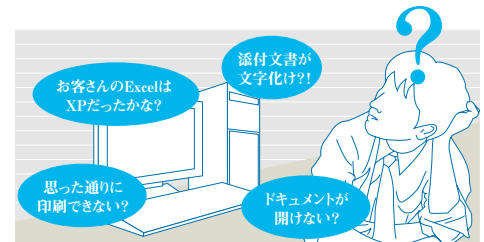
### ● PageScope Workwareによる一元管理



## Solution with Acrobat

### ドキュメントの電子フォーマットの信憑性・将来性

- 電子メールでWord文書を添付したが、バージョンが異なり開けない。
- PowerPointデータを作成したアプリケーションがないため、受信先でファイルを開けない。
- プリンター、ソフトウェアの制限で、作成ドキュメントを正確に印刷できない。
- 電子署名機能でデジタル文書の作成者と信頼性を確認したい。

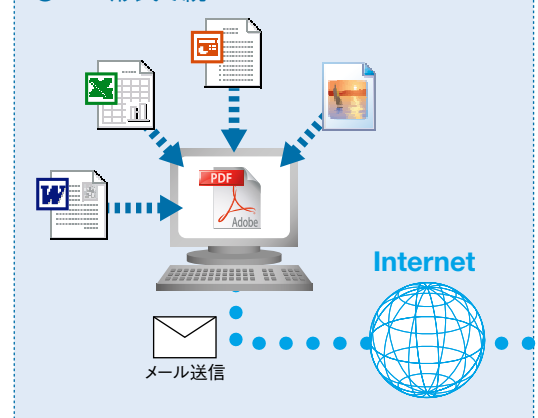


## PDFデータで解決!

### オフィスがこう変わる

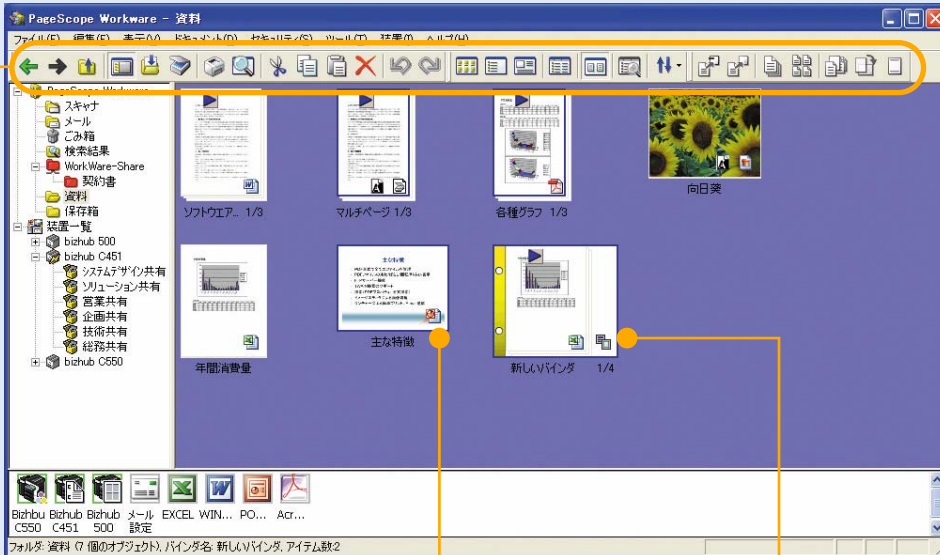
- 標準同梱のAdobe Acrobatを使えば、誰でもPDFファイルを閲覧・編集・作成・印刷可能。
- プラットフォーム、ソフトウェア、バージョンにかかわらず、PDFファイルなら作成体裁そのままに表示・印刷できます。
- PDFはISOでデジタル送稿の標準フォーマットとして採用。日本では準JIS規格として認定されているので安心してメール送信できます。
- 電子署名認証法の成立で、電子署名が手書き署名や押印と同じ効力を発揮。複数の電子署名を入れられるので承認ワークフローにも利用できます。また、e-文書法の保存フォーマットとしても承認されています。

### ● PDF形式で統一



# 様々なアプリケーションファイル、イメージファイルを PDFに変換・登録し、一元管理

## メインウィンドウ

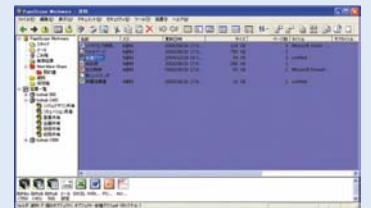


内容を一目で把握できる  
サムネイル形式表示

登録文書の概要を一目で判断できるようサムネイル表示を採用。しかも全ページにサムネイルが作成され、表示サイズも3種類から選べます。テキストや図の位置、画像ファイルのイメージなど、文書の構成要素を直感的に把握できます。このほか、便利な詳細形式表示やカード表示形式など5種類の表示切り替えができます。



文書情報を確認しながら追加・変更ができるカード表示



並び替えに便利な詳細表示

### ツールバー

ファイルの表示切り替えからネットワーク連携、検索はもちろんのこと、「束ね」「ばらし」「回転」などのページの再構築もボタンをクリックするだけで行えます。

### ファイル表示

PDFに変換・登録する前のオリジナル文書のファイル形式もアイコン表示され、オリジナル文書の表示・編集も行えます。ページ数も一目で分かるスムーズな編集・管理が可能です。

### バインダ表示

PDF結合せずに仮想的に束ねる機能です。新規バインダを作成し、編集したいファイルをドラッグするだけで簡単に行え、縦型文書と横型文書との結合も可能です。また、バインダにより色を変えて表示することができます。

## ドキュメントファイルをドラッグ&ドロップで簡単登録

「Word」、「Excel」、「PowerPoint」などのアプリケーションで作成したドキュメントファイルを、PageScope Workwareの文書フォルダにドラッグ&ドロップするだけで、PDFファイルへ簡単に変換し、登録できます。

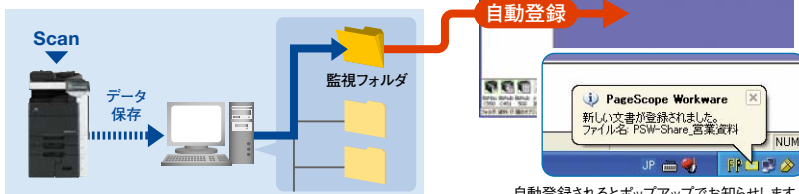


### 既存のPDFファイルの 管理・運用が一層便利に

指定したフォルダに保存されているPDFファイルをフォルダ階層を保持したまま、一括して登録可能です。すでに、PDF文書をビジネスの現場で運用しているお客様にとって最適なツールです。

## フォルダ監視機能で指定フォルダ内の スキャンイメージやファイルを自動登録

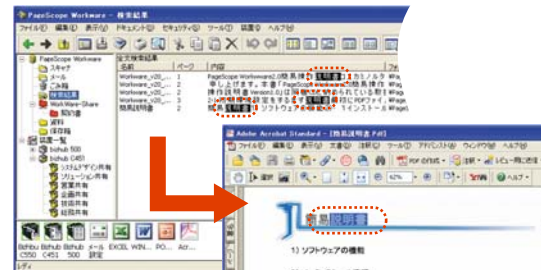
指定フォルダを監視し、新たにデータが保存されるとPDFに変換して、フォルダエリア内の指定したフォルダに自動登録されます。(補正機能を付加することもできます。)データが自動登録されるとタスクトレイにポップアップ表示。同時に登録文書を把握できます。登録したPC上のファイルは削除、移動することができます。



自動登録されるとポップアップでお知らせします。

## 登録文書を容易に検索、 該当文書をすばやく表示

PageScope Workwareには、詳細検索・簡易検索と2種類の検索機能があり、それぞれ検索項目のカスタマイズができます。ファイル名や更新日、タイトルなど文書情報の検索に加え、PDF内の文書、しおり、注釈についての検索を一度に行えます。また、複数の検索キーワードを使ったAND/OR検索絞り込み検索も可能です。



ダブルクリックするとAcrobatが起動してページ上の単語をハイライト表示します。  
※スキャンデータを除く。

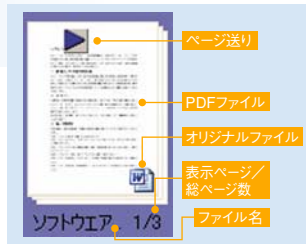
## 情報資産を活かすアプリケーション連携

PageScope Workwareに登録されている文書に対応したPDFファイルを他の文書管理・情報共有アプリケーションに直接、登録・転送が可能となりました。ドキュメントを情報資産としてスムーズに活用できます。さらに、PDFテキスト貼付された文書は他の検索アプリケーションでも運用が可能です。

# Document Handling

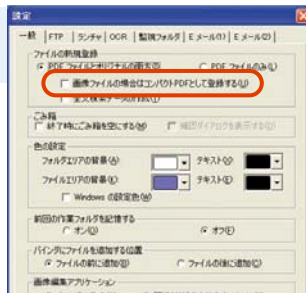
## 文書ハンドリングもスムーズ、オリジナル文書の更新も安心

大量ページや複数箇所の修正が発生する文書の改訂には、オリジナル文書の編集も必須。PageScope Workwareでは、オリジナルの文書表示/編集ができ、編集された文書のPDFファイルを更新することもできます。オリジナル文書とPDFファイルをペアで一元管理するので、整合性を損なうことなく快適・安心な運用が行えます。



## 画像ファイルの場合はコンパクトPDFとして保存することが可能

イメージファイルのPDF変換の際には、文字・写真・図形領域を判別し、各領域に最適な圧縮を行う“コンパクトPDF”形式で保存。ファイル容量が1/3~1/5に効率よく圧縮を行うので、HDDを効率的に使うことができます。

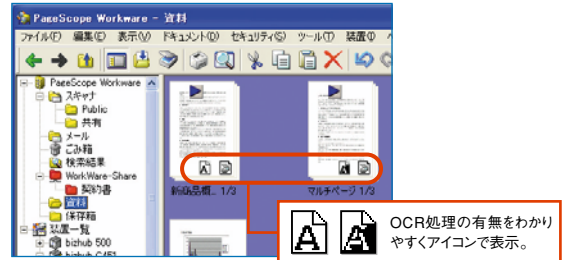


## ネットワーク上の文書共有としても活躍

PageScope Workwareは、個人管理用ツールの活躍に加えて、Windowsのネットワーク共有機能を利用して、ワークグループの共有文書データベースとしても機能。企画書を共有する、見積もりを再閲覧するなど、情報共有を一段と促進します。

## 内蔵OCR機能によりスキャンデータからテキストデータの抽出が可能

OCRで抽出されたテキストデータは別ファイルで保存され全文検索用として扱われます。また抽出テキストの貼り付けも可能です。ランチャーと併用することで、RTFファイルを同時出力でき、簡単な管理・活用ができます。

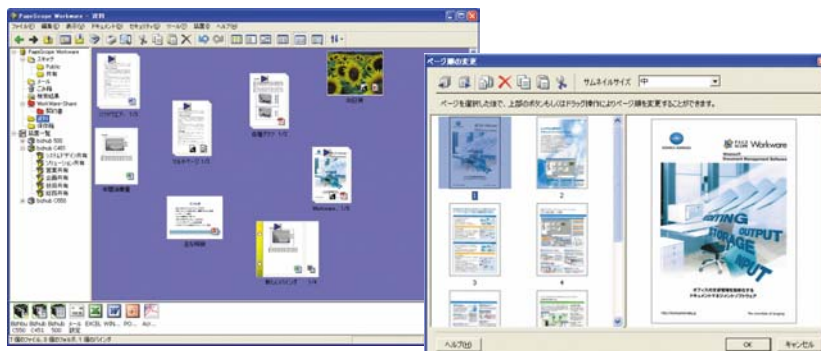


## 目的に応じた様々な形のアウトプットに対応

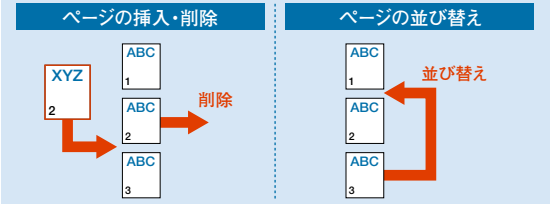
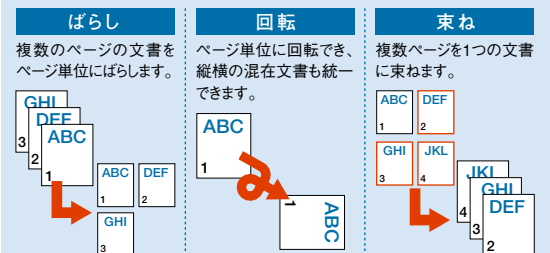
登録文書の指定したページをBMP形式の画像ファイルとして出力。また、登録文書中のテキストデータをテキストファイル出力できるほか、クリップボードにコピーすることで提案書・企画書などへ簡単に再活用できます。これらの出力は、ページ単位に加え、複数ページの出力にも対応。目的にあわせた出力が可能です。さらに、文書情報一覧の内容をCSV形式で出力できる機能も搭載しています。

# 様々なドキュメントファイルを1つにまとめ、文書管理のベース構築

アプリケーションで作成・登録した文書やスキャンした紙文書のページを再編集する作業を、別パレットではなくメインウィンドウで実現。サムネイルの表示サイズが変更できるなど分かりやすいインターフェイスで、必要に応じてPDFをページ単位でばらし・挿入・ページ順の変更など、プレビューを見ながら作業ができます。新たなPDFファイルを登録・保存でき、ページ番号を付加できます。PC上で文書を統合できるので、管理の幅が容易になり活用の幅を広げます。

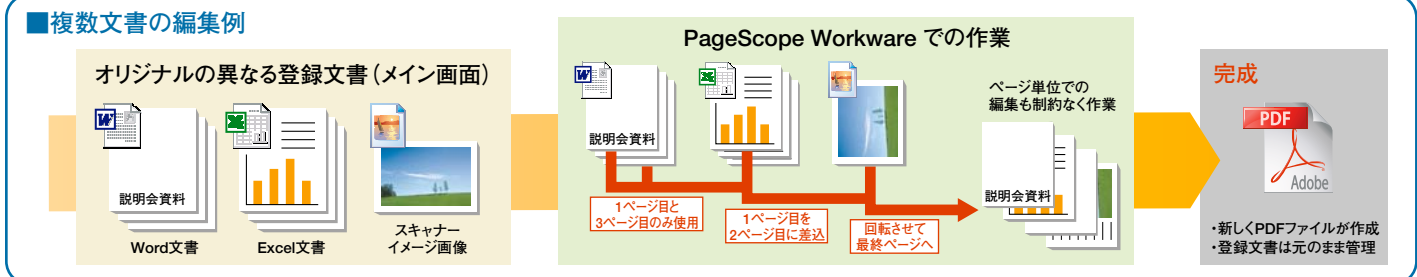


### ■ 束ね・ばらし・回転・複製など自在に編集



※他に表示ページでの分割、複製も可能です。

### ■ 複数文書の編集例



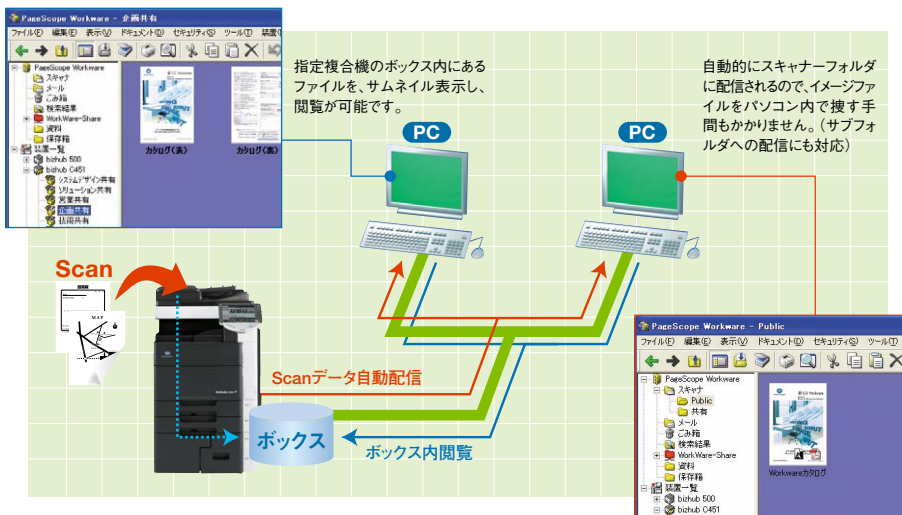
# ドキュメントハンドリングを一元化 インプットからアウトプットまでの業務効率を向上

## ネットワーク連携Solution

### bizhubシリーズ (デジタル複合機) + PageScope Workware

bizhubシリーズとの連携によってドキュメントの入出力が一層簡単に行えます。

保管や配送のコスト、ファイリングの手間など、紙文書に関する業務は日常的に発生します。複合機とPageScope Workwareを組み合わせることにより、これらを効率かつ短時間で行えます。インプットからアウトプットまで簡単に操作できるシステム環境を実現できます。



#### デジタル複合機との連携で、ボックス内のデータも一元管理

指定したデジタル複合機のボックス内にあるデータを、PageScope Workware上から閲覧とファイル名の変更ができます。取り込んだデータは、席にいながら必要に応じて編集・加工し、再出力できます。より一元的な文書のハンドリングが可能となります。

\*対応機種など、詳しくはお問い合わせください。  
\*PageScope Box Operatorをインストールする必要があります。

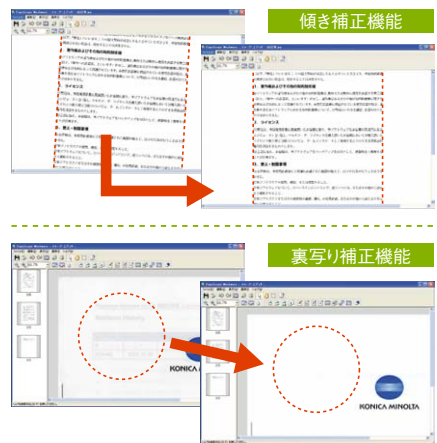
#### 専用サーバーを設けずに、スキャンデータを自動で取り込み

デジタル複合機からスキャンしたイメージファイルは自動的に配信され、専用サーバーを設けずにデスクのパソコンで直接データを受け取ることができます。電子文書をフル活用する時代での、紙文書の有効活用・効率化を一層推進し、TCO削減に大きく貢献します。

\*対応機種など、詳しくはお問い合わせください。

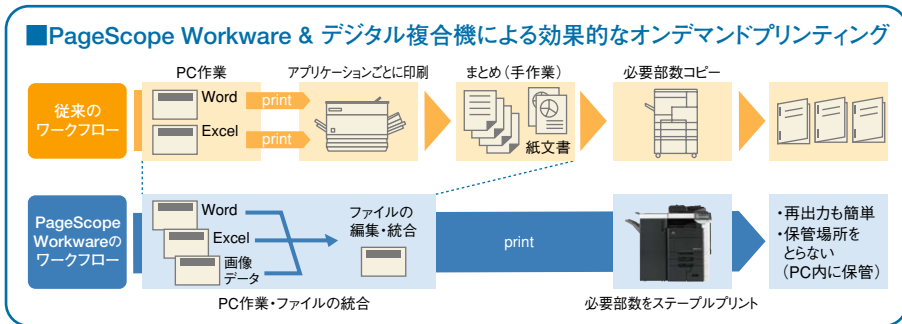
#### スキャンしたドキュメント画像を見やすく補正

スキャンする紙文書の状態によっては、表示されたデータに傾きが生じたり、紙質によっては裏写りするケースがあります。そういったドキュメントを見やすい状態にするために、PageScope Workwareには様々な画像補正機能が搭載されています。スキャンおよびフォルダ監視経由での登録時に補正機能を自動化することも可能です。



#### 一括プリントも簡単、かつ高速。わずらわしい手作業を減らし、省コストを実現

デジタル複合機の豊富なフィニッシングの機能を活用して、企画書やマニュアルなどを必要な形態にあわせて出力できます。手間のかかっていた出力から製本までの作業が効率化され、オフィスの生産性が大幅に向上します。



### TWAIN対応機器 + PageScope Workware

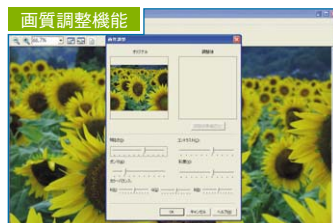
スキャナーやデジタルカメラなど、TWAIN対応機器からもダイレクトにデータ取り込み

クライアントパソコンにインストールされているTWAINドライバーを使用することで、スキャナーなどの接続機器から直接PageScope Workwareにドキュメントを取り込むことができます。



#### 取り込んだ画像を自動的に美しく補正可能

デジタルカメラで撮影したフルカラー画像は、色かぶり・コントラスト不足といった不具合を生じる場合があります。PageScope Workwareは、このような画像データの状態を自動判別して、最適な補正をかけることができます。また必要だと思われる補正内容を指定して、手動で画像処理を加えることも可能です。





## ■ PageScope Workwareの主な仕様

登録	パソコン作成文書/パソコン画像ファイル/スキャナー入力
表示	フォルダツリー表示/アイコン表示/サムネイル表示/一覧表示 詳細表示/カード表示
検索(絞り込み機能付き)	全文/ファイル名/タイトル/サブタイトル/作成者/キーワード/ 日付/しおり/注釈
スキャン文書取り込み	Scan to FTP, TWAIN, Scan to E-mail (POP3・S/MIME)
複合機のボックス操作*	ボックスの表示、ファイルの表示、ファイル名の変更
ファイル操作	コピー、移動、削除、ページめくり、仮想結合、実結合
ページ編集	ページ順変更、ページの挿入・コピー・削除、ページ回転、束ね、ばらし、 白紙ページ挿入、表示ページで分割、ページ番号・ヘッダ・フッタの追加
画像変換	PDF (Adobe純正)、コンパクトPDF (独自)、JPEG、JPEG2000 (J2K)、 BMP、PSD、PCT、TIFF、PNG、RTF
画像補正・画像処理	下地除去、網点除去、裏写り補正、傾き補正、ドキュメント画像自動補正、 写真画像自動補正、写真画像シーン指定補正、 画像調整 (明るさ、コントラスト、ガンマ、彩度、カラーバランス)、 シャープネス調整、解像度変換、画像サイズ変更、ネガポジ、 鏡像、エンボス、トリミング、回転
印刷	サムネイル、カード、リスト、ファイルの各印刷
セキュリティ	パスワード設定による暗号化、電子証明書による暗号化、 電子署名の付加
その他	簡易OCR機能、PDFテキスト貼付、文書ページ出力 (BMP)、 テキスト出力、フォルダ監視機能、ポップアップ登録機能

※対応機種など、詳しくはお問い合わせください。

## ■ 必要なシステム

OS**1	Windows XP Home Edition (SP3以降) / Professional (SP3以降)、 Windows Vista Home Basic (SP2以降) / Home Premium (SP2以降) / Business (SP2以降) / Enterprise (SP2以降) / Ultimate (SP2以降)、 Windows 7 Home Basic / Home Premium / Professional / Ultimate / Enterprise
メモリー	Windows XP Home Edition / Professional : 256MB以上推奨 Windows Vista Home Basic : 512MB以上推奨 Windows Vista Home Premium / Ultimate / Business / Enterprise : 1GB以上推奨 Windows 7 Home Basic / Home Premium / Professional / Enterprise / Ultimate : 1GB以上推奨
CPU	Pentium® 4 1.6GHz以上推奨
Webブラウザ	Internet Explorer 6 以降
ハードディスク	930MB以上の空き容量
モニター解像度	1,024×768ピクセル以上、High Color (16ビット) 推奨
ネットワーク	TCP/IP
ドライブ	DVD-ROMドライブ
必須アプリケーション**2**3	Adobe® Acrobat® 8.1.9.0または X PageScope BoxOperator Ver3.2.07100以降 (ボックス操作機能をご利用時)

※1:Windows 7の各エディションのみ64ビット(x64)環境に対応。

※2:Acrobat 8.1.9.0またはXが事前にコンピューターにインストールされている必要があります。

※3:ボックス操作機能のご利用には、PageScope BoxOperator Ver3.2.07100以降がコンピューターにインストールされている必要があります。

\*Windows 7の場合、Acrobat 9.2以上が必要です。

\*\*OS及びソフトは全て日本語版です。

\*Adobe Reader / Adobe Acrobat Elementsでは、動作しません。

\*KONICA MINOLTA、KONICA MINOLTAロゴは、コニカミノルタホールディングス株式会社の登録商標です。

\*PageScopeは、コニカミノルタビジネステクノロジー株式会社の登録商標です。

\*Microsoft™、SharePoint™、Windows™は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

\*Acrobat®、Adobeロゴおよび Acrobat®は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の商標です。

\*ABBYY FineReader、ABBYY、FINEREADERは、ABBYY Software House, Inc.の商標です。

\*その他の製品名は、各社の商標または登録商標です。

© Copyright 1998-2003 住友電工フィールドシステム株式会社

ABBYY™ FineReader™ 6.0 Engine © ABBYY Software House, Inc. 2002.

ABBYY FineReader - the keenest eye in OCR

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

※表示価格は消費税抜きの価格です。消費税は別途申し受けます。

※カタログ中のイメージカラーを使用している部分は実際の画面の色と異なる場合があります。

※製品改良のため、仕様および機能の一部を予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

※このカタログはAdobe Acrobatの開発元であるアドビシステムズ社が推奨もしくはスポンサーしているものではありません。



このカタログには植物油インキを使用しています。

コニカミノルタビジネステクノロジー株式会社の生産事業所およびその生産関係会社の全てにおいてISO14001を取得しています。国内グループ販売会社の全拠点での認証を取得しています。

〈国内総販売元〉

**コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社**  
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号  
コニカミノルタ日本橋ビル

〈製造元〉

**コニカミノルタ ビジネステクノロジー株式会社**

## ■ 標準価格(税別)

商品名	標準価格
PageScope Workware (1ライセンス付/DVD-ROM) (基本パッケージ) .....	15,500円

※PageScope WorkwareはAdobe Acrobat X Standard版と同梱されています。

## ■ 追加ライセンス価格(税別)

商品名	標準価格
追加5ライセンス .....	67,500円
追加10ライセンス .....	128,000円
追加50ライセンス .....	600,000円
追加100ライセンス .....	1,120,000円

※追加ライセンスは基本パッケージとセットでご購入いただけます。

## ■ サポート料金(税別)

保守項目	料金	内訳
ソフトウェアインストール料金	4,000円	1ライセンスあたり
操作教育指導料金	15,000円	1時間

※1訪問あたり別途基本料金ががかかります。

お問い合わせは、当社へ。

——〈お問い合わせはフリーダイヤルでお気軽にどうぞ〉——  
**〈お客様相談室〉 ☎ 0120-805039**

受付時間は土、日、祝日を除く9:00~12:00、13:00~17:00でお受けします。

■おことわり 確認のためお問い合わせ内容を録音させていただいております。ご了承下さい。  
消耗品・修理・保守・サービスに関するお問い合わせは、ご購入いただいた当社販売店へご連絡ください。

製品についての詳しい情報は、インターネットでご覧いただけます。 <http://bj.konicaminolta.jp>